

第40回土木学会地震工学研究発表会(2020年)

10月1日(木曜日)

時間	A会場	B会場	C会場	D会場
8:45	Zoom会議室オープン			
9:00-9:10	開会式(目黒公郎 地震工学委員会委員長 挨拶)			
9:20-10:40	A11 ＜斜面の地震時安定性＞ 松丸貴樹(鉄道総合技術研究所)	B11 ＜コンクリート構造＞ 伊津野和行(立命館大学)	C11 ＜津波防災＞ 嶋原良典(防衛大学校)	D11 ＜地盤の応答＞ 末富岩雄(エイト日本技術開発)
10:55-12:15	A12 ＜地盤の液化化＞ 中澤博志(防災科学技術研究所)	B12 ＜免震・ゴム支承＞ 渡邊学歩(山口大学)	C12 ＜災害対応＞ 奥村与志弘(関西大学)	D12 ＜サイト特性＞ 野口竜也(鳥取大学)
	ランチタイム			
13:15-14:50	A13 ＜地盤と構造物の相互作用①＞ 大矢陽介(港湾空港技術研究所)	B13 ＜鋼・ケーブル構造＞ 奥村徹(九州産業大学)	C13 ＜ライフライン防災＞ 宮島昌克(金沢大学)	D13 ＜震源特性・地震動特性＞ 竿本英貴(産総研)
15:05-16:40	A14 ＜地盤と構造物の相互作用②＞ 一井康二(関西大学)	B14 ＜耐震性能・応答解析＞ 本田利器(東京大学)	C14 ＜道路・鉄道防災＞ 党紀(埼玉大学)	/
16:55-18:00	A15 ＜地盤の地震応答＞ 小濱英司(港湾空港技術研究所)	B15 ＜地震時挙動・耐力＞ 和田一範(鉄道総合技術研究所)	C15 ＜建築構造物防災＞ 吉田雅穂(福井工業高等専門学校)	/

10月2日(金曜日)

時間	A会場
9:00	会議室オープン
09:20-10:55	A21 ＜合同セッション＞ 中村晋(日本大学)
10:55-11:00	閉会式(中村晋 地震工学論文集編集小委員会委員長 挨拶)

第40回地震工学研究発表会プログラム
A会場(10月1日)

10月1日(木) A会場

09:20-10:40		A11 <斜面の地震時安定性>	座長:松丸貴樹(鉄道総合技術研究所)
A11-	1573	A Case Study: Velocity Of Liquefaction-Induced Landslide In Jono-Oge Triggered By 7.5 Mw Palu Earthquake	Karina Aprilia Sujatmiko(Kansai University)
A11-	1593	樹木を有する斜面の地震時応答特性・安定性	中村満太(京都大学)
A11-	1596	2018年スラウェシ島地震における緩斜面地すべりの発生メカニズムに関する解析的検討	山本航(関西大学)
A11-	1597	降雨と地震の作用を受ける斜面の安定性評価に関する基礎的実験	中澤博志(防災科学技術研究所)
A11-	1618	SPH法による急勾配盛土の遠心振動台実験の再現解析	伊吹竜一(鉄道総合技術研究所)

10:55-12:15		A12 <地盤の液状化>	座長:中澤博志(防災科学技術研究所)
A12-	1634	硬質な洪積砂層の液状化特性に着目した再現実験と個別要素法による検証	金井勇介(東電設計)
A12-	1640	硬質な洪積砂層の液状化強度特性を考慮した有効応力解析のパラメータ設定の検討	佐藤恭兵(東電設計)
A12-	1649	セメンテーションを付加した砂試料の圧密時におけるせん断波速度の変化と液状化特性	志賀正崇(東京大学)
A12-	1665	2018年北海道胆振東部地震で被害を受けた火山灰質土の不飽和液状化試験の数値解析	松丸貴樹(鉄道総合技術研究所)

13:15-14:50		A13 <地盤と構造物の相互作用①>	座長:大矢陽介(港湾空港技術研究所)
A13-	1579	国内で発生した地盤変状が耐震継手ダクトイル鉄管の挙動に及ぼす影響分析	森本皓一(金沢大学)
A13-	1594	立坑構造物の耐震解析モデルに関する考察 — 3D地盤・はりモデルの有用性 —	志波由紀夫()
A13-	1600	液状化地盤における既設橋台杭基礎の各種補強対策の効果に関する動的遠心模型実験	楊勇(土木研究所)
A13-	1606	土粒子模型を用いた継手張り出し部の摩擦メカニズムの可視化	山村優(神戸市)
A13-	1614	液状化地盤中の部分浮き矢板(PFS矢板)の耐震性に関する遠心模型実験	飛田哲男(関西大学)
A13-	1619	地山補強材を施工した盛土式乗降場の地震時内的安定照査法の提案と変形開始震度および崩壊形態の分析	杉山健太(鉄道総合技術研究所)

15:05-16:40		A14 <地盤と構造物の相互作用②>	座長:一井康二(関西大学)
A14-	1625	組積構造の盛土式乗降場の耐震補強方法に関する解析的研究	石井秀憲(鉄道総合技術研究所)
A14-	1630	杭頭を絶縁した基礎の杭頭敷設材が地震応答特性に及ぼす影響の評価	土井達也(鉄道総合技術研究所)
A14-	1637	3次元DEMIによる石垣崩壊崩に対する適用性の研究	森田大成(法政大学)
A14-	1647	可動式ホーム柵を設置した盛土式乗降場の耐震性能に関する実験的研究	滝沢聡(東日本旅客鉄道)
A14-	1652	降伏応力450MPa超えの高強度鋼管杭の港湾構造への適用に向けた検討	塩崎禎郎(JFEスチール)
A14-	1666	洋上風力重力式基礎の地震時安定性評価に関する解析的研究	倉本龍(構造計画研究所)

16:55-18:00		A15 <地盤の地震応答>	座長:小濱英司(港湾空港技術研究所)
A15-	1577	耐震性能評価のための動的解析の妥当性確認 ~ASME V&V10.1の指標による検討事例~	一井康二(関西大学)
A15-	1578	強非線形領域における水平動の加速度増幅に対する飽和度の影響評価	田中宣多(京都大学)
A15-	1645	鉄道盛土を対象とした地震時性能の効率的な把握のためのデータベース構築	鈴木聡(複合技術研究所)
A15-	1671	模型振動実験を対象とした地震応答解析における初期地盤モデルの検討	大矢陽介(港湾空港技術研究所)

第40回地震工学研究発表会プログラム
B会場(10月1日)

10月1日(木) B会場

09:20-10:40		B11 <コンクリート構造>	座長:伊津野和行(立命館大学)
B11-	1604	死荷重支持機構を埋め込んだRC単柱の正負交番載荷実験	西根幸輝(京都大学)
B11-	1607	0.2G相当の復元力を有するコンクリートヒンジを埋め込んだRC柱に関する研究	植村佳大(京都大学)
B11-	1651	埋込継手構造を用いた塑性ヒンジ部取替によるRC橋脚の耐震性能回復に関する検討	林学(村本建設)
B11-	1584	軸方向鉄筋のフーチングからの伸び出しが RC柱の曲げ変形挙動に及ぼす影響に関する非線形有限要素解析に基づく研究	SHAO PEILUN(山口大学)
B11-	1631	水平二方向載荷を受ける実規模RC部材のせん断破壊挙動に関する解析的検討	穴倉佳浩(大成建設)

10:55-12:15		B12 <免震・ゴム支承>	座長:渡邊学歩(山口大学)
B12-	1537	地震動作用下におけるゴム支承取付ボルトの力学挙動	奥村徹(九州産業大学)
B12-	1602	免震ゴム支承の損傷検知手法に関する研究	伊津野和行(立命館大学)
B12-	1646	下部構造への影響に着目したシングル球面すべり支承を有する橋梁模型の振動台実験	大藪宏文(宇都宮大学)
B12-	1536	3Dプリンターを活用したローコスト摩擦振子型免震橋梁の地震時応答に及ぼす寸法効果の影響	樫山大樹(早稲田大学)

13:15-14:50		B13 <鋼・ケーブル構造>	座長:奥村徹(九州産業大学)
B13-	1622	芯材に切欠きを設けた小型座屈拘束ブレースの性能実験	王澤卿(名城大学)
B13-	1611	上路式鋼アーチ橋を対象とした地盤変動時のアーチ支承および床版の滑動がアーチリブに与える影響に関する数値解析的研究	千田知弘(東北学院大学)
B13-	1588	交点クランプで連結された2本のケーブルの張力推定手法の提案	山田哲(京都大学)
B13-	1591	画像計測技術を用いた斜張橋ケーブルの振動計測	有井賢次(長大)

15:05-16:40		B14 <耐震性能・応答解析>	座長:本田利器(東京大学)
B14-	1534	3次元テンソル形式コンクリート構成則の2次元厚板要素への実装と検証	堀田渉(大成建設)
B14-	1540	構造物特性の不確実性を考慮した地震時非線形応答の確率分布の推定精度向上に向けた検討	和田一範(鉄道総合技術研究所)
B14-	1583	近似ベイズ計算(ABC)を用いたモデル更新による免震橋梁の残存耐震性能評価の検討	北原優(ライブニッツ大学)
B14-	1608	振動中心軸の移動量に着目した非線形自由度系の安定性に関する検討	綾城威歩生(京都大学)
B14-	1605	高次振動モードを用いた地震後の構造物健全度判定の高度化のための基礎的検討	伊藤公二(ジェイアール東海コンサルタンツ)
B14-	1610	種々の教科書におけるモード解析の取り扱いとその改善策に関する一考察	野津厚(港湾空港技術研究所)

16:55-18:00		B15 <地震時挙動・耐力>	座長:和田一範(鉄道総合技術研究所)
B15-	1531	ロッキング橋脚上の変位制限耐力が桁移動に及ぼす影響	金山亨(構造計画研究所)
B15-	1532	横変位拘束構造押抜きせん断耐力の鉄筋効果	幸左賢二(九州工業大学)
B15-	1539	有限要素解析と模型振動台実験による打継目を有する無筋コンクリート橋脚の地震時破壊メカニズム分析	川松裕汰(京都大学)
B15-	1582	数値解析を用いた鉄道組積橋脚の地震時挙動と鋼板接着補強の効果に関する検討	山木誠也(京都大学)

第40回地震工学研究発表会プログラム
C会場(10月1日)

10月1日(木) C会場

09:20-10:40		C11 <津波防災>	座長: 嶋原良典(防衛大学校)
C11-	1626	バイクの活用に着目した津波避難シミュレーション:シボラ島におけるケーススタディ	前田 裕紀(鳥取大学)
C11-	1660	Rank of Trigger for Evacuation Based on Regional Characteristic and Tsunami Type in Indonesia	Yoshihiro Okumura(Kansai University)
C11-	1623	津波災害時における消防・警察・自衛隊の救助能力と救助隊派遣規模の推定	嶋原良典(防衛大学校)
C11-	1581	インドネシア・スラウエシ地震による橋梁被害分析	鍋島信幸(長大)
C11-	1642	衝突条件の違いによる陸上構造物に作用する津波波圧の低減効果の検討	渡辺高志(構造計画研究所)

10:55-12:15		C12 <災害対応>	座長: 奥村与志弘(関西大学)
C12-	1586	2016年熊本地震における自治体の震後対応に関する調査	山本一敏(テクニカルリンク)
C12-	1580	平成28年熊本地震後初期の建設会社の応急復旧対応に関する調査結果	柳原純夫(奥村組)
C12-	1635	国際線を対象としたダイバート先候補空港の抽出手法に関する分析-Flightradar24を用いた検討-	藤井涼(金沢大学)
C12-	1662	被災者の存在位置・ニーズ把握ツールの有効性に関する基礎的検討—金沢市における設置実験を通して—	森崎裕磨(金沢大学)

13:15-14:50		C13 <ライフライン防災>	座長: 宮島昌克(金沢大学)
C13-	1589	管軸方向加振試験による流体輸送用ポリエチレン管路の耐震性能に関する研究	大室秀樹(神戸大学)
C13-	1620	水道管横断方向耐震性の寸法効果と踏まえた大口径管の地震被害要因の考察	櫻井敬巳(神戸大学)
C13-	1638	橋梁添架管向け耐震性鋼管継手の開発	北居祐馬(多久製作所)
C13-	1657	通信用地下管路の震災時点検結果を基にした機械学習による被害予測モデル検討	伊藤陽(日本電信電話)
C13-	1641	災害時における停電の復旧予測の逐次更新に向けた基礎的検討	加藤宏紀(岐阜大学)
C13-	1568	地上式配水池の耐震安全性能照査法提案	小池武(JICA)

15:05-16:40		C14 <道路・鉄道防災>	座長: 党紀(埼玉大学)
C14-	1612	橋梁・高架橋の地震被害発生確率の即時推定手法のための検討	松本星斗(鉄道総合技術研究所)
C14-	1664	震災時緊急点検での活用に向けた橋梁の遠隔点検システムの開発	南貴大(金沢大学)
C14-	1659	広域道路ネットワークの地震被害シミュレーションによる構造物応答及び周期特性の評価	服部匡洋(阪神高速先進技術研究所)
C14-	1656	破壊尤度の制御による道路橋の崩壊シナリオデザイン設計法の提案	大住道生(土木研究所)
C14-	1655	MPMIによる経済的なもたれ壁の耐震補強方法の有効性に関する解析的検討	阿部慶太(鉄道総合技術研究所)

16:55-18:00		C15 <建築構造物防災>	座長: 吉田雅穂(福井工業高等専門学校)
C15-	1644	2018年大阪府北部の地震における高槻市・茨木市の建物被害分布と要因に関する地理学的考察	浅野晃太(京都大学)
C15-	1627	能登半島地震被災地区における高密度常時微動観測と建物被害との関係について	六町優斗(金沢大学)
C15-	1650	天守を有する91城の地震リスク評価	吉田雅穂(福井工業高等専門学校)
C15-	1617	大型振動台実験による石垣補強技術の耐震性評価	橋本隆雄(国土館大学)

第40回地震工学研究発表会プログラム
D会場(10月1日)

10月1日(木) D会場

09:20-10:40		D11 <地盤の応答>	座長:末富岩雄(エイト日本技術開発)
D11-	1535	地盤の地震時挙動を等価な1自由度系で評価する際の刺激係数考慮に関する一考察	坂井公俊(鉄道総合技術研究所)
D11-	1538	時間領域における基盤入力地震動同定手法の基礎的研究	鈴木亜季(法政大学)
D11-	1598	非線形1次元地震応答解析法の妥当性確認手法に関する一考察	中村晋(日本大学)
D11-	1628	表層地盤の強度と入力地震動最大値を考慮した各種地震動指標の地震増幅率の高度化	杉浦翔太(JR東日本コンサルタンツ)
D11-	1648	均質化法を用いた互層岩盤の地震応答解析手法の開発とその検証	伊藤公人(中部電力)

10:55-12:15		D12 <サイト特性>	座長:野口竜也(鳥取大学)
D12-	1613	2016年鳥取県中部の地震の被害地域における地盤震動特性とその影響	西村武(鳥取大学)
D12-	1624	首都圏高密度観測記録に基づく地盤増幅率のモデル化と応答スペクトル分布推定	末富岩雄(エイト日本技術開発)
D12-	1654	2018年北海道胆振東部地震を対象としたスペクトルインバージョンとサイト増幅特性の分析	西川隼人(福井工業大学)
D12-	1658	2018年大阪府北部の地震における茨木市の震度と地盤卓越振動数の関係	小林 巧(土木研究所)
D12-	1669	2007年能登半島地震で重篤な家屋被害を生じた門前町道下地区の地盤構造	森 伸一郎(愛媛大学)

13:15-14:50		D13 <震源特性・地震動特性>	座長:竿本英貴(産業技術総合研究所)
D13-	1533	断層変位に起因して生じるプルアパート構造についての有限要素解析	竿本英貴(産業技術総合研究所)
D13-	1603	断層近傍における地震動の特徴を考慮したKriging法による地震強度分布推定手法の検討	古閑智之(法政大学)
D13-	1633	1943年鳥取地震の鹿野・吉岡断層における稠密微動観測に基づく地盤震動特性の把握	野口竜也(鳥取大学)
D13-	1653	地震動分布のモード分解による周期・方位依存の空間特性の分析	高橋 幸宏(岐阜大学)
D13-	1621	直交水平2成分を用いて定義される強震動指標の相互関係の定量的評価	横山太郎(岐阜大学)
D13-	1643	地震動位相差分の相関性に着目した位相の模擬	佐藤忠信(京都大学)

第40回地震工学研究発表会プログラム
A会場(10月2日)

10月2日(金) A会場

09:20-10:55		A21 <合同セッション>	座長:中村晋(日本大学)
A21-	1632	地表地震断層変位量に関する統計的分析	諸井亮磨(法政大学)
A21-	1636	三次元静的流動解析法を用いた側方流動変位量の評価に関する検討	加藤一紀(大林組)
A21-	1661	斜面カルテと崩壊履歴の共分散構造分析を用いた斜面の地震時信頼性評価手法	榎丹人(法政大学)
A21-	1668	車両走行振動による岩盤斜面の振動特性	佐古昇大(愛媛大学)
A21-	1587	地震時の漏洩通報に基づくガス導管の被害予測結果の更新に向けた検討	河村祥彰(千葉大学)
A21-	1609	2018年北海道胆振東部地震において被災した道路ネットワークの被害分析	吉成健人(筑波大学)